

共 同 獣 医 学 科

<紹介教員一覧>

	(氏 名)	(専門分野)
教授	居在家義昭 . . .	臨床繁殖学
教授	宇塚 雄次 . . .	獣医臨床放射線学、獣医神経病学
教授	橋爪 一善 . . .	獣医生理学
教授	古市 達哉 . . .	実験動物学
教授	古濱 和久 . . .	獣医薬理学、獣医毒性学、実験動物学
教授	村上 賢二 . . .	獣医微生物学、感染症学
教授	安田 準 . . .	小動物内科学
教授	山岸 則夫 . . .	獣医内科学、牛病学、病態生理学
教授	山本 欣郎 . . .	獣医解剖学、組織学
准教授	岡田 啓司 . . .	生産獣医療学
准教授	木崎景一郎 . . .	細胞生物学、生理学/生化学
准教授	佐藤 至 . . .	獣医公衆衛生学
准教授	中牟田信明 . . .	獣医解剖学、神経解剖学
准教授	山田 美鈴 . . .	動物生理化学
助教	佐々木 淳 . . .	獣医病理学

氏名	いざいけ　よしあき	所属	共同獣医学科	
	居在家　義昭			
専門分野	臨床繁殖学			
講義テーマ	生命誕生の秘密 発生工学とは			

氏名	うづか ゆうじ	所属	共同獣医学科 小動物外科学研究室	
	宇塚 雄次			
専門分野	獣医臨床放射線学、獣医神経病学			
講義テーマ	1. 放射線による生物影響と、社会における放射線の様々な生物利用について 2. 動物の生理学 とくにホルモンや血液に関して 3. 動物の疾患全般に関して、例えば人の椎間板ヘルニアと犬の椎間板ヘルニアの類似点、相違点／内分泌異常と皮膚疾患の関係 など 4. 犬猫動物病院の現状と問題点 5. 伴侶動物との付き合い方、伴侶動物と人間社会の相互関係			

氏名	はしづめ かずよし	所属	共同獣医学科	
	橋爪 一善			
専門分野	獣医生理学			
講義テーマ	ウシ遺伝子解析完了の効用 遺伝子の解析方法と、遺伝子解析がウシの生産性の及ぼす効果を概説する。 ホルモンの支配する世界 ホルモンへ何か？ また、動物の体がホルモンによって調節されている意義を概説する。 母と子をつなぐ胎盤 妊娠中のお母さんと胎子のやり取りに何が必要か、その機能はどの様に維持されるのかを概説する。			

氏名	ふるいち たつや	所属	共同獣医学科	
	古市 達哉			
専門分野	実験動物学			
講義テーマ	マウスの遺伝子进行操作する 遺伝子工学を用いて人為的に遺伝子の機能を変化させたマウス（遺伝子改変マウス）についてわかりやすく解説します。 動物実験はなぜ必要なのか 生命科学の進歩、薬の開発のために本当に動物実験は必要なのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。			

氏名	ふるはま かずひさ	所属	共同獣医学科	
	古濱 和久			
専門分野	獣医薬理学、獣医毒性学、実験動物学			
講義テーマ	“口蹄疫” 防御作業に従事して			

氏名	むらかみ けんじ	所属	共同獣医学科	
	村上 賢二			
専門分野	獣医微生物学、感染症学			
講義テーマ	獣医感染症について 「牛白血病」、「牛ウイルス性下痢症」、「馬伝染性貧血」等の特に大動物のウイルス性感染症			

氏名	やすだ じゅん	所属	共同獣医学科	
	安田 準			
専門分野	小動物内科学			
講義テーマ	イヌやネコの老齢病とその介護のしかた 近年イヌやネコなどの伴侶動物も高齢化社会を迎えています。老齢動物が示す臨床症状とその看護の実態を解説します。 イヌやネコの病気の移り変わり 伴侶動物と一緒に過ごしている人間社会を反映するものです。時代とともに問題となる人間の病気が変化してきたように、動物の病気も刻々と変化しています。 アフリカの家畜と野生動物とはなし 海外学術調査で行き来しているアフリカの動物の現状を、獣医学的見地から話をします。			

氏名	やまぎし のりお	所属	共同獣医学科	
	山岸 則夫			
専門分野	獣医内科学、牛病学、病態生理学			
講義テーマ	1. 分娩乳牛の病気（低カルシウム血症）：研究の最前線 2. 子牛の骨の病気：研究と獣医療			

氏名	やまもと　　よしお	所属	共同獣医学科	
	山本　　欣郎			
専門分野	獣医解剖学、組織学			
講義テーマ	動物の細胞と組織 動物の体は細胞から出来ています。どのような細胞がどのように組織化して器官をつくり、どのように働くのかを概説します。			

氏名	おかだ けいじ	所属	共同獣医学科	
	岡田 啓司			
専門分野	生産獣医療学			
講義テーマ	1. 食卓から見直す畜産製品 2. 家畜福祉と福島第一原子力発電所事故 3. 日本の畜産の現状と今後（食糧自給の話）			

氏名	きざき けいいちろう	所属	共同獣医学科	
	木崎 景一郎			
専門分野	細胞生物学、生理学/生化学			
講義テーマ	血液のはなし 私たちの身体の中を流れている血液はどのような成分からなり、どのような役割があるのか？またどのようにして固まるのか？これらのしくみについてお話しします。			

氏名	さとう いたる	所属	共同獣医学科	
	佐藤 至			
専門分野	獣医公衆衛生学			
講義テーマ	1. 食品の放射能汚染と健康への影響 2. 食品の化学物質汚染による健康危害とその制御			

氏名	なかむた のぶあき	所属	共同獣医学科 解剖学教室	
	中牟田 信明			
専門分野	獣医解剖学、神経解剖学			
講義テーマ	ほねのかたち 動物の骨を観察しながら、そこに見られる構造にどんな意味があるのか、スライドを使って解説します。 神経の通り道 脳や脊髄から出た神経は身体の中でどこを通るのか、脳神経・脊髄神経・自律神経のそれぞれについて概説します。			

氏名	やまだ みすず	所属	共同獣医学科	
	山田 美鈴			
専門分野	動物生理化学			
講義テーマ	動物の体を構成する生体分子について 動物が生きていくためには何が必要でしょうか？ 生物の基本を形作る構成成分について、生体高分子というミクロの側面からお話します。			

氏 名	ささき じゅん	所 属	共同獣医学科	
	佐々木 淳			
専 門 分 野	獣医病理学			
講 義 テ ー マ	動物が病気になるメカニズムについて 動物も私たち人間と同じようにいろいろな病気になります。病気が発生するメカニズムのことを病理発生といい、病理発生を研究・解明する学問を病理学といいます。本講義では主に犬や猫など身近な動物の病気について、その病理発生的一端を肉眼標本や様々な視覚資料をもとに分かりやすく講義します。			